

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局 障害福祉部 障害者支援課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立引野ひまわり学園	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市八幡西区鉄王一丁目11番30号		
	設置目的	障害のある児童を日々保護者の下から通わせて、社会的自立生活へ向けての援助、学習の指導、健康管理その他の支援を行うことにより、障害児の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市福祉事業団		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号		
指定管理業務の内容		障害児施設（児童発達支援センター）の管理運営。 施設の維持管理。		
指定期間		令和3年4月1日～令和4年3月31日 (令和4年4月1日付で民間譲渡)		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		45
(1) 施設の設置目的の達成			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。			
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	25	4	20
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
障害児通所支援	【参考】R2（更新前）	R3	
定員	50名	50名	
利用者数	58名	58名	
※ <input type="checkbox"/> …対象年度（以下、同じ）			
①・発達障害児や身体障害児など様々なニーズにあわせ、定員【50名】を超過して、障害児通所支援を行っている。（国基準によると、適正なサービスを提供できるのであれば定員の125%までを受け入れ可能とされている。当該数値を超えない範囲での受け入れを行っており、アンケート結果および事故報告書においても、定員超過による影響は確認されない。）			
・自閉症スペクトラム児を受け入れるなど、支援の拡充や利用者の増加に繋がる取組みを実施。			
・通園バスについては、大型バスとミニバンの2台で運行しているが、運行ルートや配車の見直しによる時間短縮など、利用者の通園の利便性向上を図っている。			
外来相談	【参考】R2（更新前）	R3	
目標値	300件	300件	
実績	312件	252件	
短時間通園	【参考】R2（更新前）	R3	
目標値	1,700件	1,700件	
実績	1,578件	1,494件	

保育所等訪問支援	【参考】R2 (更新前)	R3
目標値	230 件	230 件
実績	193 件	156 件

・外来相談及び短時間通園などは、待機児童対策や地域の障害児支援としての役割を担っている。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業もあるが、ここ数年はほぼ横ばいの件数を維持している。

②・ホームページを活用して通園や保育所等訪問支援の周知を図っている。

各実績の減少は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、指定管理者の責に帰すべきものではないため、本評価にあたっては、過年度並みであったものと見なした（以降項目についても同様）。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	2 5	5	2 5
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。			
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

	【参考】R2 (更新前)	R3
目標値	90%以上	90%以上
満足度平均	98%	96%
スタッフ接遇	100%	98%
情報提供	97%	94%
サービス内容	97%	92%
施設関係	97%	97%
緊急時	100%	100%

①・アンケート調査の結果、施設、職員の対応等について、「よい」「まあまあよい」を合わせた評価は、全体の平均で96%と、利用者の満足度は非常に高いものとなっている。

②・園独自のアンケートや懇談会の実施、また意見箱の設置や連絡帳の活用などにより、保護者の意見や要望などを聞く機会を設けて、意見や要望に対しては関係職員、若しくは全職員で対応を検討した上で、個別な意見は個別に、それ以外はホームペー

ジや紙面に掲示を行うよう対応している。

- ③・苦情に対しては、受付手順の説明や解決責任者の掲示をし、苦情があった場合には速やかな対応を行うよう努めている。
- ④・家族等への情報提供について、連絡帳で児童の日々の状況を伝え、ホームページへの掲載や、毎月のお知らせや掲示板などを活用して情報提供に努めている。
- ⑥・ミュージックケアなど様々な療育プログラムを活用した療育の提供を行っている。令和3年度のミュージックケアでは、上級認定資格を有する外部講師によるセッションを実施。
 - ・社会参加のため、公園など近隣施設の利用や遠足を実施している。
 - ・家族支援の取組みは、新型コロナウイルス感染症予防のために活動が制限される中で、感染対策を講じながら、保護者との勉強会、懇談会を実施した。一方、クラス、グループ懇談会、給食試食会や調理実習等は中止となったが、必要な内容をまとめた文書の配付や、食育の情報提供のため、管理栄養士による「人気給食メニューのレシピ」等の書面配付等代替手段を講じ、情報提供の質の担保に努めた。
 - ・卒園後の就学に向けた支援として、保護者への説明会を開催し、保護者の希望に応じて学校見学を実施している。
 - ・コロナ禍において、感染への不安や体調不良で長期間登園自粛が続く家庭に対して、クラス担任が電話で利用児を含めた家族の体調確認や、家庭での過ごし方のアドバイスを実施したり、必要に応じ家庭プログラムや教材を郵送する等、在宅支援を実施した。
 - ・例年、家族の参加を促進するため、土曜日や夏・冬休みに父親や兄弟が参加できる行事（運動会・参観日など）を開催している。令和3年度は、保育参観の代替として平日に人数を分け「分散見学会」、平日に来られない保護者対象に土曜日に見学会を実施する等、新型コロナウイルス感染予防のための規制の中でも、家族に参加してもらえるよう工夫し取り組んだ。

2 効率性の向上等に関する取組み		15		9
(1) 経費の低減等		15	3	9
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。				
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。				
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。				
[評価の理由、要因・原因分析]				
消費電力	【参考】R2（更新前）	R2		
実績	31,510kwh	33,276kwh		

水道光熱費	【参考】R2(更新前)	R3		
予算	1,852千円	1,804千円		
実績	1,841千円	1,884千円		
<p>①・障害のある児童にとっては、天候の違いや温度変化などの環境に適応することが難しい場合などあり、削減に向けた取組みの効果がなかなか出ないこともあるが、手洗い場及び各部屋に節水・節電協力の張り紙を掲示し、職員の節水・節電意識を高めるよう努めるなど、経費の低減に向けて継続的な取組みはされている。</p> <p>②・清掃、設備保守点検等については再委託を行っており、業務は適切に行われている。事業計画に則り、施設の管理運営を適切に行っている。</p>				
(2) 収入の増加				
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			—	—
【評価の理由、要因・原因分析】				
・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。				
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み			3 5	2 1
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況				
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。				
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			1 5	3 9
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。				
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。				
【評価の理由、要因・原因分析】				
①・人員配置については指定基準に応じた人員が配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。				
②・職場内研修として新人と異動者を対象とした基本研修や中堅職員の専門研修を実施するほか、外部研修にも複数名参加して職員としての技術向上に努めている。				
③・令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、例年行っている地域との交流を中止した（保育所との交流や市民センターまつりへの参加、地域の高齢者の方とふれあう機会として地域交流会実施など）。地域交流会は、職員と園児で、缶ぽっくりや紙相撲などの「伝承遊び」に活動内容を変更し実施した。				
③・地域への貢献として、大学などへの講師派遣を行っている。				
・新型コロナウイルス感染症予防のための制限を掛けながら、実習生、ボランティアの受入れを実施した。				
・同年齢の子ども達との交流を図るため、永犬丸保育所との交流を行っている。令和				

<p>3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため実施できなかった。</p> <p>・支援の充実を図るため、総合療育センター地域支援室に依頼し、専門職との検討を行った。また、西部分所には、発達上の課題や対応を図るため、評価・行動分析の依頼を行っている。</p>				
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p>		<p>2 0</p>	<p>3</p>	<p>1 2</p>
<p>① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。</p>				
<p>② 施設の利用者に対する身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。</p>				
<p>③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。</p>				
<p>④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。</p>				
<p>⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。</p>				
<p>⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。</p>				
<p>⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。</p>				
<p>⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。</p>				
<p>【評価の理由、要因・原因分析】</p> <p>①・「事業団個人情報規定」「個人情報保護指針」に基づき管理徹底を行っている。</p> <p>②・人権研修を年2回開催し、基本態度や言葉使いなどは、チェックシートを用いて、職員の行動・態度を毎月相互に評価した。</p> <p>⑤・遊具・設備の安全点検を毎月実施、「ヒヤリハット」を毎日朝礼で報告するなど、日常の事故防止や安全対策などの取組みを実施。</p> <p>⑥・様々な事態を想定した避難訓練（火災：毎月、地震：毎月、竜巻：年1回、バス事故：年2回、不審者：年2回、水害：年1回）を実施し、危機管理体制として、施設と事務局間で災害時の緊急連絡網、動員計画を作成している。</p> <p>⑦・食事前の手洗い・消毒の励行や、園内各所に消毒液と玄関に自動手指消毒薬を設置するなど感染症の対策を行っている。</p>				

【総合評価】

<p>合計得点</p>	<p>7 5</p>	<p>評価ランク</p>	<p>B</p>
<p>【評価の理由】</p> <p>・利用者へのサービスの質の維持・向上に努めるだけでなく、保護者との勉強会・懇談会等の実施や食育に関する情報提供、就学に向けた取組みを行うなど、家族支援を積極的に行っている。</p> <p>・研修の実施及び参加による職員の資質及び技術の向上、保育所や市民センターとの交流や職員の派遣など、地域への支援などの取組みに努めている。</p>			

- ・個人情報の管理の徹底、施設の管理や安全対策などにも努めている。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により例年の活動が大きく制限される中、感染症予防を徹底した上で、様々な工夫を施し、質の高いサービスの提供を継続した。
- ・新型コロナウイルス流行により例年の活動が大きく制限される中、感染症予防を徹底した上で、様々な工夫を施し、質の高いサービスの提供を継続した。行事を人数を分散させて実施するなど、利用者の気持ちに寄り添った支援に取り組んだ点も評価する。

[今後の対応]

- ・施設の管理運営を適切に行い、利用者へのサービス向上に努めるとともに、家族への支援や地域及び関係機関との連携を積極的に行うなど、障害児支援に引き続き取り組むことを期待する。

[北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見]

【評価レベル】

評価レベル	乗率		評価レベルの考え方
5	100%	良	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)